

平成 30 年 7 月

豪雨関連

平成 31 年 3 月 18 日

四国地方整備局

四国山地砂防事務所

出水期に備えるための緊急安全対策が完了

～強靱ワイヤーネット設置工事が完成～

四国山地砂防事務所は、平成30年7月豪雨により土石流被害を受けた2地区（高知県長岡郡本山町北山地区、下関地区）において、再度災害防止の応急対策として強靱ワイヤーネットの設置に着手しています。

このたび、下関地区において、強靱ワイヤーネット工が完成し、本年の出水期対応が完了しましたのでお知らせします。

これにより、行川^{なめかわ}本川への土砂や流木の流出を抑制するとともに、保全対象の町道の保全を図ります。

引き続き、北山地区の強靱ワイヤーネット工の早期完成を目指し事業推進を図って参ります。

※強靱ワイヤーネットとは、リング状の鋼材をつなぎ合わせたネットタイプの柵であり、土石流を捕捉するものです。

※応急対策状況を広く知っていただくため、報道機関の方を対象に現地状況を公開します。取材希望がありましたら現地までご案内いたしますので、下記までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先（○主な問い合わせ先）

国土交通省四国地方整備局 四国山地砂防事務所

○副所長 白石 隆（内線 204）

工務課長 有田 由高（内線 311）

吉野川砂防出張所長 福岡 文典（内線 6221）下関地区

建設監督官 東 泰志（内線 6551）北山地区

電話0883-72-5400（代表）

強靱ワイヤーネット完成状況(行川支川) 3月15日撮影

なめかわ



強靱ワイヤーネット設置工事を3月末完成に向け、設置中(3月14日撮影)



強靱ワイヤーネットの土砂捕捉効果



設置完了後



土石流の捕捉状況

- 土石流の衝撃に耐える特殊な**鋼製のバリア**で大きな衝撃エネルギーを吸収し、衝撃を緩和します。
- 溪流にアンカーを施工し、地山に連結することで、土石流の圧力に対抗し、**土砂や流木を捕捉します**。
- 部材が軽量のため搬入と設置が容易であることから、**短期間で減災効果が発揮**できます。

今回の応急対策で下流への人家や町道への土砂流出による土砂災害を防ぐ効果が期待されます。